

要件2) 「『既存の介護老人保健施設』に比べ『療養病床から転換した介護老人保健施設』において実施頻度が高い医療処置」について、算定日が属する月の前3月間において同処置が行われた者が一定以上の割合で入所していること

【算出方法(案)】

○「H13年 介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省統計情報部)及び「H18年 慢性期入院医療の包括評価に関する調査」(厚生労働省保険局)における調査結果を基に、「療養病床から転換した介護老人保健施設」及び「既存の介護老人保健施設」において行われている処置のうち、実施率が低い(1%未満)処置を除き、それ以外の処置で実施率に差があるもの(3倍以上)を抽出した。

⇒その結果、両施設での実施率の差が3倍以上となるのは、**経管栄養(14.8/2.2=6.7倍)**と**喀痰吸引(7.1/1.8=3.9倍)**であり、「療養病床から転換した介護老人保健施設」におけるこの2つの医療処置の実施率を用いて施設要件を設定する。

○なお、最終的に基準を設定する際には、最新のデータをもとに、平均的な値と分散の幅を踏まえつつ設定する。

○また、当該医療処置を行っている者は月単位で変動する可能性があるため、**一定の評価期間(3ヶ月)**をおく必要があるのではないかと。

医療区分1と区分2の30%で補正

施設内での処置	介護老人保健施設		介護療養型医療施設		医療区分1 医療区分2の30%	
	人数	%	人数	%	人数	%
点滴	5,078	2.3%	8,074	7.4%	906	1.2%
膀胱カテーテル	3,807	1.7%	8,869	8.1%	3,644	5.0%
人工膀胱	138	0.1%	98	0.1%	48	0.1%
人工肛門	854	0.4%	541	0.5%	266	0.4%
喀痰吸引	4,008	1.8%	14,711	13.5%	5,191	7.1%
ネブライザー	1,721	0.8%	4,725	4.3%	データ無し	データ無し
酸素療法	1,080	0.5%	2,830	2.6%	0	0.0%
気管切開	132	0.1%	1,980	1.8%	324	0.4%
人工呼吸器		0.0%	24	0.0%	0	0.0%
中心静脈栄養	14	0.0%	848	0.8%	0	0.0%
経管栄養	5,011	2.2%	20,241	18.5%	10,839	14.8%
透析	34	0.0%	367	0.3%	110	0.2%
ドレーン	54	0.0%	190	0.2%	0	0.0%
モニター測定	3,704	1.7%	2,713	2.5%	0	0.0%
じょく瘡の処置	2,461	1.1%	5,229	4.8%	1,061	1.4%
疼痛管理	15,130	6.8%	7,635	7.0%	4,254	5.8%
在所者数	223,895		109,329		73,334	

注: 3.9倍 (1.8% → 7.1%), 6.7倍 (2.2% → 14.8%)

※データについては、H13年度介護サービス施設・事業所調査を使用し、療養病床から転換した老健施設の入所者については、「医療区分1及び医療区分2の30%の者が移行する」と仮定した。最新のデータや計画値が明らかになった際は、それらを用いて再計算を行うこととする。